

図書館だより



休館日…毎週月曜日

臨時休館日 (蔵書点検のため) … 2月3日 (木)
～8日 (火)

祝日開館日… 2月11日 (金) 9時～17時

※2月1日 (火)、2日 (水) は、本・雑誌に限り何冊でも貸し出しますので、たくさんご利用ください。

◆蔵書点検があります

蔵書点検は、図書館にある所蔵データと現物を一致させるための作業です。

この期間、図書館業務用コンピュータは、データを固定しておかなければならないため、貸出・返却・新着資料の受け入れ作業などはできません。

◆なぜ長期間休館にするの?

蔵書が約23万冊あり、他に雑誌や視聴覚資料があります。その資料の一点一点のバーコードを読み取って所蔵データと照合し、調査・整理します。年に一度行っています。

蔵書点検は、新鮮で魅力ある蔵書構成を維持し、利用者の皆様へお求めの資料を正しく迅速に提供するために必要な作業です。

休館中はご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

◆2月の「おはなし会」開催日 (八日市場図書館)

12・19・26 (土) 15時から約30分間

アドレス<http://www.library.sosa.chiba.jp>

間八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

市政の窓

No.10



雪のごとく白くて可愛いウサギの年ですが、九州地方などは連日の降雪で、西郷ドン銅像が白く覆われている映像や世界各地での洪水などはまさに異常気象の象徴であり、また政治・経済も先行き不透明で心細さを覚えるにいたり、国の根幹にかかわる分野でもタイガーマスクならぬヒーローの登場を請い願いたいところです。

当初予算に取っかかりている最中であり、各担当課が私の公約を念頭に置き、国・県の動きや市民要望事項を勘案しつつの予算要求書を作成し、財政全般を掌握する財政課との間でのしごき合いを経て、

最終的に市長査定に持ち込まれてきます。私としては公約の実現を少しでも早められるよう渾身の力を発揮しなければならぬ訳ではありませんが、本市の財政状況に配慮し、決して独りよがり無理強いをせず、大勢というものを見誤らないような判断をしたいと心期したところです。

こうして出来上がった予算案を市議会に諮り審議が行われ、可決いただければ平成23年度予算としてスタートします。

正念場は、3月定例市議会です。

八日市場市長 太田安規

文芸コーナー

短歌

国の礎の統計の道五十余年秋の褒章八十路の胸に

内山 林 恒雄

郡史読み祖の名のありて驚きしと吾子は我らに話しくれたり

飯倉台 南波 鹿子

還暦を過ぎし人等のコンサート合唱団員みな若々し

若潮町 伊藤登美枝

亡き母の形見の肌着身につけて老人会の旅行に出でぬ

平木 大木ヨシ子

陽溜りに花咲かせたるタンポポを施設の母に届けむと摘む

八日市場イ 木島 仁美

曾孫までが自作の品を持ち寄りてわれ等の米寿を祝いくれたり

八日市場イ 市原 弘

夕茜見とれて居ればたちまちに暗くなりたり秋の日短し

生尾 中島 静代

囀りの賑やかなりき雀等の里に戻りて日向に群れる

八日市場イ 鈴木 和子

川口 城司 推薦

米と塩に淨め移せる氏神に榊捧げて無事を祈りぬ

今泉 熱田千代子

バスの中にどよめき上がり伊豆の海大き夕つ日正目に沈む

野手 伊橋 良子

冷えしるき朝小さき音立てて忘れ風鈴雨に濡れるる

野手 石田 秀子

俳句

幣手向け父の教への鍬始

横須賀 岩井 やす

船霊へ縄目きりりと松飾

上谷中 八木佐久司

ひとつ知りたくさん忘る去年今年

蕪里 山崎 伸

西野 棠雨 推薦

祭りと縁日

匝瑳 探訪

— 57 —



市無形民俗文化財に指定されている「如意輪まいり」

正月から2月にかけて市内各地でさまざまな伝統行事が繰り広げられています。新聞の地方版やテレビなどでそれは報道されるようになったのは、昭和40年代後半からのように記憶しています。当時は1973(昭和48)年の「若潮国体」開催に合わせるかの

ように、県内各地を紹介する出版物が刊行され、伝統行事なども掲載されました。

そのころは、代表的な正月行事の男性による「オヒシヤ」や女性の「セイレン」などの呼び名が使われていましたが、調査するとまだ名称が付けれられてない行事もありました。昭和53年発刊の『八日市場の村々』や市制施行30年記念出版の『狭布佐の祭』などにより浸透、定着するようになっていえます。

祭りは、地域の神社仏閣の縁日に実施されることが多く、正月のものは「初葉師」「初大師」「初天神」などと呼ばれています。縁日は、神仏の特別な縁のある日という意味です。2月になると、最初の午の日に初午があり、飯倉の「かがり炭」や飯塚・松峰神社などは特色のある行事とされています。

節分のあと立春を迎え、「こと八日」と呼ばれる2月8日には時曾根の「大蛇まつり」、「オダイハンニャ」など

があります。

筆者がこうした伝統行事を40年近くウォッチしてきた中でも変化が見られます。それは参加者が地域の人に限られる行事は、開催日を縁日から休日に変更したことです。

小高の「はだかまいり」は、元旦を中心とする大正月に対し14、15日の「小正月」に行われたものが休日に変わりました。早朝から夜半までの神事を、形式を伝承したままの賢明な対応だったといえます。亀崎の「如意輪まいり」も江戸時代の「十九夜講」にならい従来2月19日に行われていたものを休日実施としました。保存会ができ、市文化財指定を受けるなど集落あげて行事を存続させようとする意気込みが感じられます。

これらに代表されるように、40年前には取材といえば市広報担当くらいで、今日のようにカメラマンに囲まれるようなことは稀で、これも大きな変化です。

観光写真コンクールや地域に根ざした保存会の存在、文化財指定などが祭りをいっそう盛り上げ、存続することになったといえます。

関八日市場図書館 ☎73・3746

水仙の花に波音風の音
一喝の竹刀の気魄寒稽古
息災のペダル風切る初詣
淑氣満つ境内にある鬼瓦
咩の息足踏み決まる弓始

高	八	高	登	若
中村 和子	依知川きよ	伊藤 友子	伊藤 さく	光瀬甲江子

川口 城司 推薦

仏前に真紅のイチゴ光りをり
鈴なりの千両今朝は早やまばら
タータンの背広似合いて小春かな

高梨	高	高	若
鎌形ミツエ	菱木 静枝	平山 右	常世田やす子

川柳

高梨 果宝 推薦

年金は来るより早く逃げて行き
束の間の逢瀬切ない日暮れ時
何時の間に居座る妻の五十年
うれしくてさんざん跳ねてギブアップ
上棟へ打つ槌の音が勇ましい
ポッペンを吹いて小さな幸を呼ぶ
梅の枝早々春を漲らせ
柗の真白く咲いて寒波来る

八日市場ホ	八日市場ホ	平木	八日市場イ	八日市場イ	飯塚	八日市場イ
伊藤 さとこ	久米 喃喋	鈴木ツネ子	関川 幸子			

川口 城司 推薦

手作りの愛情こもる幸袋
駅伝でパワーもらって九十路

川	川
加瀬 きよ	嶋田テル子

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198
匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73・0080 FAX72・1114